【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成27年2月19日(2015.2.19)

【公開番号】特開2013-216306(P2013-216306A)
【公開日】平成25年10月24日(2013.10.24)
【年通号数】公開・登録公報2013-058
【出願番号】特願2012-262711(P2012-262711)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｃ　11/00　(2006.01)
Ｂ６０Ｃ　1/00　(2006.01)
Ｂ６０Ｃ　13/00　(2006.01)
Ｃ０８Ｊ　5/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｃ　11/00　Ｄ
Ｂ６０Ｃ　1/00　Ａ
Ｂ６０Ｃ　1/00　Ｚ
Ｂ６０Ｃ　11/00　Ｆ
Ｂ６０Ｃ　1/00　Ｂ
Ｂ６０Ｃ　13/00　Ｅ
Ｃ０８Ｊ　5/00

【手続補正書】
【提出日】平成26年12月18日(2014.12.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
測定温度６０℃における損失正接ｔａｎδの値が０．１８２以下であり、
測定温度－３０℃における損失正接ｔａｎδの値と、－３０℃における動的複素弾性率Ｅ＊の値から下記式（１）で求められる値が１．４［ＭＰａ$^{-1}$］以上であり、
測定温度３０℃における動的複素弾性率Ｅ＊の値が１０．１［ＭＰａ］以上であり、
測定温度６０℃における動的複素弾性率Ｅ＊の値が６．９［ＭＰａ］以上であること、
を特徴とする自動二輪車用タイヤ組成物。
物性指数＝10^4×ｔａｎδ／Ｅ＊　…（１）
【請求項２】
測定温度６０℃における損失正接ｔａｎδの値が０．１５５以下であり、
上記式（１）で求められる値が２．２［ＭＰａ$^{-1}$］以上であり、
測定温度３０℃における動的複素弾性率Ｅ＊の値が１０．９［ＭＰａ］以上であり、
測定温度６０℃における動的複素弾性率Ｅ＊の値が７．８［ＭＰａ］以上であること、
を特徴とする請求項１記載の自動二輪車用タイヤ組成物。
【請求項３】
測定温度６０℃における損失正接ｔａｎδの値が０．１２８以下であること、
を特徴とする請求項１記載の自動二輪車用タイヤ組成物。
【請求項４】
測定温度－３０℃における動的複素弾性率Ｅ＊の値が１１４０［ＭＰａ］以下であり、
測定温度－３０℃における損失正接ｔａｎδの値が０．２５１以上であること、

を特徴とする請求項１記載の自動二輪車用タイヤ組成物。
【請求項５】
天然ゴムおよび末端変性ポリマーを含んで構成されるポリマー部と、表面処理シリカとを含むことを特徴とする請求項１または２に記載の自動二輪車用タイヤ組成物。
【請求項６】
トレッド部（５）、ショルダー部（６）およびサイドウォール部（４）を有し、前記トレッド部および前記ショルダー部を含む接地部（Ｓ）において接地可能とされた自動二輪車用タイヤ（１）であって、
前記接地部は全体としてラウンド形状を有し、
少なくとも前記接地部全体が、請求項１から５のいずれかに記載の自動二輪車用タイヤ組成物によって構成されたこと、
を特徴とする自動二輪車用タイヤ。
【請求項７】
前記接地部に加え、前記サイドウォール部が請求項１から５のいずれかに記載の自動二輪車用タイヤ組成物によって構成されたことを特徴とする請求項６記載の自動二輪車用タイヤ。
【請求項８】
測定温度６０℃における損失正接ｔａｎδの値が０．１８２以下であり、
測定温度－３０℃における損失正接ｔａｎδの値と、－３０℃における動的複素弾性率Ｅ＊の値から下記式（１）で求められる値が１．４［ＭＰａ$^{-1}$］以上であり、
測定温度６０℃における動的複素弾性率Ｅ＊の値が６．９［ＭＰａ］以上である、自動二輪車用タイヤ組成物によって構成されたこと、
を特徴とする自動二輪車用タイヤ。
物性指数＝１０^{4}×ｔａｎδ／Ｅ＊　…（１）
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
また、本発明の自動二輪車用タイヤは、トレッド部、ショルダー部およびサイドウォール部を有し、前記トレッド部および前記ショルダー部を含む接地部において接地可能とされた自動二輪車用タイヤであって、前記接地部は全体としてラウンド形状を有し、少なくとも前記接地部全体が、上記の自動二輪車用タイヤ組成物によって構成されたことを特徴とする。
本発明によれば、接地部全体が、低燃費性と優れた制動性能および旋回性能を発揮する組成物で構成されているので、直進走行時も旋回時も優れた走行性能を有し、低燃費化を実現可能な自動二輪車用タイヤを提供できる。また、接地部が全体としてラウンド形状を有し、このラウンド形状の接地部が、本発明に係るタイヤ組成物で構成されているので、旋回時に優れた剛性感を発揮する。
さらに、上記自動二輪車用タイヤにおいて、前記接地部に加え、前記サイドウォール部が、上記の自動二輪車用タイヤ組成物によって構成されたものとしてもよい。この場合、トレッド部、ショルダー部およびサイドウォール部を一体として同一材料により成形することが可能であり、工数が少なく量産性に優れた自動二輪車用タイヤを提供できる。
また、上記自動二輪車用タイヤはバイアスタイヤであってもよい。この場合、制動性能および旋回性能に優れ低燃費化が可能な自動二輪車用タイヤを、低コストで提供できる。
また、本発明の自動二輪車用タイヤは、測定温度６０℃における損失正接ｔａｎδの値が０．１８２以下であり、測定温度－３０℃における損失正接ｔａｎδの値と、－３０℃における動的複素弾性率Ｅ＊の値から下記式（１）で求められる値が１．４［ＭＰａ$^{-1}$］以上であり、測定温度６０℃における動的複素弾性率Ｅ＊の値が６．９［ＭＰａ］以上

である、自動二輪車用タイヤ組成物によって構成されたこと、を特徴とする。

物性指数＝10^4×ｔａｎδ／Ｅ＊　…（１）

本発明によれば、ウェット路における制動性能と、旋回時の剛性感とで優れており、かつ、低燃費化を達成可能な自動二輪車用タイヤを実現できる。